

東京の大学を知ろう! (IV)

～シリーズ: 大学について知ろう (その13)～

大都会「東京」での花の学生生活を夢見て受験した田舎の高校生が、実際に来てみて愕然とする大学がいくつかあります(でも私のような本当の田舎者はその方が安心して暮らせるのですが…)。一つのパターンが都心にメインキャンパスがありながらいくつかの学部を郊外に持って行っちゃったもので、その代表例が川崎市多摩区の生田キャンパスに理工学部と農学部がある(1)大学。最寄り駅を降りたら坂道を歩き、さらに急なところに突然現れるエスカレーターを使って登った丘の上にキャンパスがあるのですが、当然周りには何もありません。一方、狭い都心を嫌ってメインキャンパスを郊外の広い敷地に建ててしまった大学もあり、(1)大学生田キャンパスと谷を挟んで山中に展開する(2)大学や、多摩モノレールに乗って遠足気分で行ける(3)大学などがそれに当たります。その他、学部によって所在地がバラバラな(4)大学は工学部(福島県郡山市)を除いて一応首都圏の中にあるのですが、(5)大学となると熊本や札幌にまでキャンパスがあり訳がわからなくなります。では都内の国立大学はすべて都心にあるかという点、今回詳しく紹介する(6)大学があるのは八王子市南大沢で、そこは神奈川県との境目の山の中なのです…。

※上記の()の答… 1. 国公立大 2. 私立大 3. 私立大 4. 私立大 5. 私立大 6. 私立大

以下の文章は7年前(2013年)に私が首都大学東京の説明会に行ったときのことを書いたものです。今年から「都立大」の名称に戻った東京唯一の公立大の雰囲気は少しだけ変わって下さいな。

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京(TMU)に行ってきました…

首都大学東京ってどんな大学?

日本の大学の中で末尾に「大学」の語が付かない唯一の大学がこの首都大学東京(あまりに言いづらいので「首都大」と略称されることが多く、この紙面でもそう表記します)。東京都にある唯一の公立大学(群馬県に



首都大南門とシンボルの光の塔

公立大学が4つもあるんだぜっ!)ですが、もともとは都立大・都立科学技術大・都立保健科学大・都立短大の4大学が2005年に統合されて首都大になった南大沢、首都大は長方形が4分割されている(4年次)・荒川(健康福祉学部2~4年次)・晴海(法科大学院)と4つのキャンパスがありますが、今回の説明会はもちろんメインの南大沢キャンパス(全学部の1年生が学ぶ)で開かれました。

首都大(南大沢キャンパス)は広い!

南大沢と聞いてどこにあるか分かる群馬県人は少ない、と言うよりほとんどいない。新宿から京王線に乗り換えるのですが、「橋本行き」(3年の学年主任をこんなところでも思い出してしまいます…)のでできれば特急(特に別途料金はかかりません)に乗車しましょう。私はタイミングの良かった快速に乗ったのですが、調布で後発の特急に追い抜かれることを知ってそ



ろは全乗換え、もう新宿から約40分で南大沢駅に到着しました(ここは八王子市で、もうちょっと行けば神奈川県に入ります)。駅を出ると…あ、暑い! 午前中だというのに気温は30℃をはるかに越えている感じ。しかも快晴で直射日光が…い、痛い! 大学方面に向かって歩き始めると何やら異様なショッピング施設が左右に広がる…これって大型アウトレットじゃん! 立ち寄りたいたいが、それは帰る際にということで、まずは首都大へ歩を進めます。改札を出てわずか5分で南門に到着。首都大のシンボル「光の塔」がお出迎えです…がやっぱり、あ、暑い。構内に入ってしばらくゆくと、右手にディズニーランドのワールドバザールのような高い屋根付きの場所があり(インフォメーションギャラリーという名称)、その先にずーっと通路が延びています。このキャンパスは東西に長く、その広さはなんと東京ドーム9個分。学内を自転車で移動している学生たちも多く、その姿は筑波大学を思い起こさせます。同じ公立大学でも、さすが東京都が母体だと規模が違いますね…。

首都大の学生食堂で超豪華? ランチを食す

屋根付き通路をしばらく行くと、眼下に食堂らしき物を発ももちろん直行。ここの学生食堂は好きな物を取って行ってレジで支払うカフェテリア方式。サンプルを見ると定食は日手前(つまりイマイチ)なので、「今日のおすすめ」と書いてあ「まぐろカツトマトソースがけ」(280円)に決定! トレイを持並ぶと、私の前をゆく大学職員らしきおばちゃんが「冷しゃ味玉葱ソース」(150円)を取るのを見て、暑さで頭がボーとしていたせいか、自分も同じ物をトレイに載せているではありませんか。気がつくとともに「ほうれん草のゴマあえ」(50円)も載っています。結局、ライスM(100円)と味噌汁(30円)を合わせ、しかもそれぞれ消費税がかかり、合計639円という学食での過去最高金額の超豪華ランチとなってしまいました…。



過去最高金額の豪華昼食

見。後に光のるってぶ香

ガリガリ君で生き返って、いよいよ説明会へ…

お昼を食べて元気を取り戻した気分になった私は、さらに構内散策を続けます。図書館のさらに先には国際交流会館を発見。ここは国際シンポジウムにも対応できる施設で、その中には本格的な散策中止にすれば良かったのですが、暑さで思考停止中の私は、さらにフラフラとその先へ。体育館(室内温水プールもあった!)・陸上競技場・テニスコート・野球場・サッカーコートなどをチラ見して戻ります。戻る途中のカフェテリア館という所で、ついに「ガリガリ君」(60円)をゲットし、やっと一息ついたのです。やっぱり猛暑日にはガリガリ君が似合います…。

南門近くの講堂でいよいよ説明会です。まずは大学紹介。首都大は学生約8000名(この数は横国大よりも多く千葉大よりも少ない)が学ぶ総合大学で、都市教養・都市環境・システムデザイン・健康福祉の4学部28コースを設定。ただし、4学部とは行っても都市教養学部は人文社会・法・経営・理工を合体させたような学部なので、実質的には7学部ということらしい。世界大学ランキングでは日本国内第7位という高評価を得ている大学で、1年生から履修できる現場体験型インターンシップ(実習先に官公庁も含みます)や副専攻の制度など、他大学とは異なる画期的な取り組みも

あるそうです。さらに学生支援や高大連携、入試制度の話も出てきたのですが、なにしろ酷暑の中を歩き回った後なのでつい睡魔が…志望する人は自分でしっかり調べましょう！

今回のお土産は…なんと途中で使っちゃった！

さて今回のお土産ですが、昼食の後に生協売店で購入しました。汗かき息子のために TMU のロゴと光の塔が刺繍されたミニタオル (420 円) と、なぜか狐と合格お守りの形をした特製消しゴム (100 円)。ところが、その後の散策で汗まみれとなり、当然ハンカチぐしょぐしょ。ついに私は土産のミニタオルを汗ふきに使ってしまったのでした。翌日洗濯した物を「そう言えばこれもあった」と言って渡したのですが、鈍感な息子はどうやら気づいていないらしい…。 **私の頭の中にはサザンのあの名曲が鳴り響く！** ♪胸に残るいとしい人よ飲み明かしてた なつかしい時 *Oh,oh* 秋が恋をせつなくすれば ひとり身のキャンパス 涙のチャペル ああ、もうあの頃のことは夢の中へ 知らぬ間に遠く *Years go by* ♪ … 電車に乗っている時から私の頭の中ではサザンの名曲が鳴り響いていました (サザンオールスターズって青学の学生が組んだバンドだって知ってましたか?)。歌に出てくる「キャンパス」、そして「チャペル」に思いを馳せながら、地下鉄の表参道駅を出ると徒歩 5 分で青学到着です。ちなみに J R だと渋谷駅を降りて徒歩 10 分。NHK だって原宿だって六本木だってみ～んな近い、東京の中でも超一等地に青学は存在するのです。

青山キャンパスは文系のみ！

この青学はメソジスト系キリスト教(とても真面目なプロテスタントの一派)の大学で、その源流である女子小学校が創設されてから今年で 140 周年。同じメソジスト系の大学としては関西学院大学や東洋英和女学院大学などがあります。キャンパスは青山のほかに相模原がありますが、一昨年から文・教育人間科学・経済・経営・法・国際政治経済・総合文化政策の文系 7 学部は 4 年間青山キャンパスで過ごすことになりました (それまでは新入生は全員が相模原だったのです)。なお、相模原には理工と社会情報の理系学部 2 つがあります (注: その後、2015年に地球社会共生学部が、さらに2019年にコミュニティ人間科学部がそれぞれ相模原キャンパスに誕生しました)。さて、正門を入るとまっすぐ銀杏並木がつづき、その両側にはベンチが並んでいます。そして、一番奥の方にはクリスマスツリーの姿が…桑田佳祐もこの路を歩きながら青春を過ごしたんだ…などと感慨にふけりながら学生食堂を探します。

イチナナで人気の定食を食す！

2 年前に出来たピカピカの 17 号館の 1 階には 1000 座席ぐらゐある学食 (愛称イチナナ) があります。午後 2 時過ぎに到着したので空いています (16000 人の学生がいる青山キャンパスでは昼食時だとメチャ込みらしい)。この学食は食券方式なのですが、“ヘルシー&ベジタブルをテーマにした週替わり定食が人気”という情報を入手していた私は、食券販売機でその定食を探します…。ありました！「表参道」というオシャレなネーミングの定食です (410 円)。中身も「ポーク生姜焼き&ベジタブルピラフ&エビカツ (タルタルソース)」という、いかにも青学らしいオシャレな内容で私にピッタリ？です。さっそく購入した食券を厨房のお姉さんに出すと、すでに盛りつけられている定食の皿とピラフ&味噌汁が出てきます。さて、お味は…ちょっと生姜焼きの味付けが濃いけれど、美味。エビカツはタルタルソースがこれでもかっ！とかかっています。なんととっても皿の中にはキャベツを中心としたサラダも付いているのが嬉しい。これで 410 円は安い！というわけで大満足でした。

説明会の内容はともかく、アオガクは女子学生多し、そしてみんなオシャレ！

いよいよ説明会です。場所は 17 号館 6 階にある本多記念国際会議場。学長挨拶、副学長による大学改革の話。そして「地球社会共生学部」の話…やっぱり教授達ってそんなに話が上手くないなあ…。その後、学生二人による学生生活の紹介があり (二人ともパワーポイントによる説明が教授達よりも上手い!)、進路・就職支援についての説明があ

り、さらに入学試験の概要についての説明もまぶたを閉じてしっかり聴きました。説明会の後は、文学部 3 年のカワイイ女子大生の案内によるキャンパスツアーです。決して広くはないキャンパスですが、新しい 17 号館を中心に個性的な建物が配置され (何と言っても一番奥にある間島記念館の外観は必見)、木陰のベンチで語り合う学生達はみな楽しそうです。ところで、青学で見かける学生は女子の方が圧倒的に多く (今年の入学生の女子比率は 49 %、ただし文系の青山キャンパスに限ると 6 割近くが女子)、しかもみんなオシャレです (ケバいではなくファッショナブルなのです!)。ただ、男子学生もオシャレなのですが、こちらはちょっとチャライ感じがするのは私の偏見でしょうか?!

さて、今回のお土産は？

ツアーの後、息子への青学グッズ土産を購入するために 1 号館にある購買会へ (青学には生協がなく、購買会という組織があるらしい)。「腹っぺらし伸び盛り中学生の息子」には食べ物しかない！というわけで、彼が大好きな和菓子を探しますが、残念ながらチョコレートしかありません。しかも、濃い緑色の包装紙に包まれたチョコレートはメリーの製品で 1300 円もします。しかし土産となる食品はこれしかないので仕方なく購入し、帰宅後自信満々で見せると「わーい、メリーのチョコだ！」と飛びついたのはカミさんの方。息子は包装紙を見て「やっぱり緑なんだ！」と変なところに感動。箱根駅伝好きの息子は TV 中継を見て青学のタスキがスクールカラーの緑色だったことを覚えていたのでした…。